

宮城第一高等学校

校風 自主自律



1 基本データ

創立：明治30年

課程・学科：全日課程・普通科、国際探究科・理数探究科

生徒数：834名

所在地：〒980-0871

仙台市青葉区八幡一丁目6番2号

TEL：022-227-3211

FAX：022-227-3213

ホームページアドレス：[https:// miyaichi.myswan.ed.jp/](https://miyaichi.myswan.ed.jp/)

電子メールアドレス：miyaichi@od.myswan.ed.jp

主な交通機関：

JR仙台駅または、地下鉄南北線「北四番丁」駅から、仙台市営バスで

「八幡一丁目」下車、徒歩2分、「宮城一高前」下車すぐ

(全行程、仙台駅から約25分、北四番丁駅から約10分)

地下鉄東西線「国際センター駅」から徒歩約15分(自転車約6分)

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

The Most Brilliant

Senior High School

生徒一人ひとりが輝く高等学校として、地域、日本、世界で活躍できる幅広く豊かな教養があるジェネラリスト、将来様々な分野に貢献できるスペシャリストとして期待される人間づくりに日々取り組んでいます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

明治30年に仙台市高等女学校として開校し、昭和23年に宮城県第一女子高等学校と改称しました。平成9年に理数科2学級を設置し、平成14年から平成18年まで、文部科学省「スーパー・サイエンス・ハイスクール」の教育研究開発校に指定されました。平成20年4月からは男女共学・単位制の宮城第一高等学校と改称し新たなスタートを切り、平成29年度に創立120周年を迎えました。令和4年度入学生から理数科が国際探究科・理数探究科に改編されました。

校舎は仙台市街の西部、国宝大崎八幡神社のある八幡町にあります。古くからの静かな住宅街の一角で、近くには広瀬川が流れ、学習活動や課外活動をはじめとした学校生活を送るには非常に適したところです。

創立100周年記念事業で建設された秋桜館には、アリーナ、合宿施設、食堂などが設置され、特別教室棟には、化学、生物の第二実験室、理科講義室、コンピュータ講義室が設置されました。令和2年度に、全面人工芝の第2グラウンドが整備されました。そして、待ちに待った新校舎・新体育館が完成し、令和5年11月より使用が始まりました。新校舎は、全教室が冷暖房完備で、全教室・体育館にWi-Fiが整備されています。

(2) 教育方針

本校は、積極的な姿勢で自らを成長させる「自主自律」の理念のもと、高い知性と豊かな創造性を身に付け、相手の立場に敬意を払いつつ自己の責任を果たす、リーダーとして社会の発展に貢献しうる人材を育成する学校を目指します。

1 国際探究科・理数探究科、普通科における教育活動の充実：国際探究科・理数探究

科の教育活動計画を積極的に推し進めるとともに、普通科においても、より探究的な活動を取り入れるなど一層の充実を図ります。

2 授業改善・教材研究の推進：学習指導要領に則り、生徒の学力向上に向けて、授業改善、教材研究等を積極的に推進します。また、3観点をういた評価方法の精度を高めます。

3 進路希望の実現：生徒全員の進路希望の実現に向け、全ての教員が共通理解のもと組織的に指導にあたるとともに、教科指導においても上級学校の研究を推し進めます。

4 個を生かす教育の推進：生徒各自の教育的ニーズに応じた適切な教育や合理的な配慮を提供するとともに、一人一人が輝く魅力ある学校づくりを推進します。また、部活動の適切な実施に努めます。

(3) 教育課程の特徴

【単位制のメリットを活かした教育課程】

県内トップクラスの進学重視型単位制高校として、皆さんの進路目標の実現を今まで以上にサポートしていきます。単位制の良い点は、学年制に比べ、より幅の広い選択科目の中から一人ひとりの興味関心・適性・進路希望により、自分に最適の時間割を作れることです。また、少人数授業や習熟度別授業が多くなり、個々に応じた、きめ細やかでより緊張感のある授業が受けられるとともに、皆さんの学習意欲もさらに高まります。また本校には、大学の講義を受講し、それを本校の単位として認定する制度もあります。単位制は、自分の個性を大切に、自らの判断と責任で希望進路を切り拓くために、意欲的な高校生活を送ろうという生徒に向いています。

【国際探究科・理数探究科の設置】

探究科の設置から3年が経過しました。この3年間で培われた探究活動をより深化させ、学びに向かう力の育成を重視していきます。実社会で起きている課題の解決策を考えたり、自ら設定した課題を解決するために行動したりする授業が多く、より深い思考力・創造力・表現力を養うことで、未来の社会を作るリーダーを育成する学科です。1年次は共通の授業で学び、2年次から国際探究科と理数探究科に分かれます。国際的な理解を深めるために、オンラインで海外の学校とつないだ授業や海外への研修旅行を計画しています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

本校には、クラス毎に絢爛たる衣装や背景、創意工夫にあふれた迫力ある歌やダンスを競い合う行事『歌合戦』をはじめ、『秋桜祭』、『体育大会』など特色ある行事が数多くあります。多くの行事が学友会(生徒会)や委員会など生徒自らによる主体的な活動によって計画・運営されていることが、本校の大きな特色です。

部活動も活発で、現在は運動部14部、文化部24部、さらに同好会3団体、愛好会3団体があり、生徒一人ひとりが目標を持ち、自分の興味や関心のあることを探究しています。令和6年度は、山岳部・競技かるた部・文学部が全国大会に出場し、全国レベルの活躍をしました。

“行事も部活動も一生懸命”。それが生き生きと学校生活を送っている宮一生の姿です

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
国公立大学	143	124	118
私立大学	78	94	104
短期大学	1	2	1
専各学校	8	3	7
就職	0	1	0
海外大学進学	2	0	2
その他	41	43	40
卒業生計	273	267	272

主な進路先(令和7年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

北海道大学(2)、東北大学(17)、岩手大学(7)、秋田大学(2)、宮城教育大学(13)、山形大学(35)、福島大学(4)、宇都宮大学(6)、埼玉大学(8)、千葉大学(3)、東京外国語大学(2)、横浜国立大学(2)、新潟大学(3)、金沢大(4)、宮城大学(11)、他

<私立大学>

早稲田大学(2)、慶應義塾大学(2)、明治大学、立教大学(4)、中央大学(3)、青山学院大学(2)、自治医科大学、同志社大学、立命館大、関西学院大学、東北学院大学(11)、東北医科薬科大学(5)、他

3 学校魅力発信

(1) 学校三大行事

体育祭

4月、陸上競技中心の春季体育大会が開催されます。各クラスでTシャツを揃えるなど、団結力が高まる行事です。また、10月には球技種目が中心の秋季体育大会が行われ、春と秋の結果で総合優勝が決まるため、大いに盛り上がる大会になります。



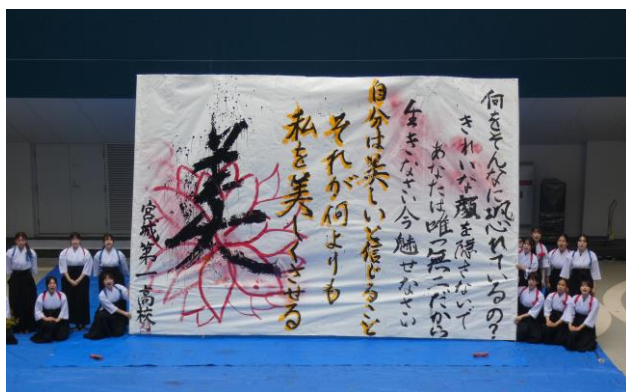
歌合戦

7月、宮城第一高校最大の行事、歌合戦が行われます。クラスごとにテーマや楽曲を選定し、作詞、振り付け、背景画や演出用の大道具・小道具、衣装の制作と、全てにおいて生徒が主体となって準備します。また、全体の企画運営も実行委員会を中心に演劇部や放送部などの協力によって行われ、宮一生が自主自律のもと、総力をあげて実施される本校自慢の行事です。



秋桜祭

8月、本校の文化祭『秋桜祭』が実施されます。文化部や同好会を中心に運動部などの有志も加わり、多くの団体の工夫された展示や発表、販売で大いに盛り上がります。中庭パフォーマンスも恒例で、各種団体の見事な発表が見物です。



(2) 国際交流

2016年に英国 City of London Freeman's School と姉妹校締結をして以来、積極的に海外の高校と交流しています。

令和6年度には、オーストラリアのシドニー Epping Boys High School と相互交流を実施し、自己紹介や授業への参加、研究発表等のアクティビティを通して、英語による活発な意見交換などを行いました。また、12月の研修旅行では、オーストラリアや台湾へ出かけ、現地で活躍する方から話を聞いたり、学生や高校生とも交流を行ったりしました。



(3) 施設紹介

施設には県立校初の人工芝の第2グラウンドがあり、令和5年度には秋桜Lab（アクティブラーニングルーム）や大講義室、体育館など、最新設備を備えた新校舎も完成しました。

